

令和 8 年度 第 2 回 北部公民館運営審議会
議事録

日 時	令和 8 年 6 月 2 3 日 (火) 午後 2 時 5 4 分～ 4 時 5 5 分
会 場	船橋市北部公民館 2 階 第 2 集会室

午後 2 時 5 4 分開会

開会

○事務局（北部公民館長補佐）

それでは、定刻前ですが、皆さんおそろいになりましたので、これより令和 8 年度第 2 回北部公民館運営審議会を始めさせていただきます。

まず、配付資料の確認をよろしくお願いいたします。

事前にお渡しいたしました北部公民館運営審議会資料、事業報告と事業計画はお手元にございますか。また、本日お手元に配付させていただいたものとしまして、社会教育関係団体登録申請書類の一式、6 件分がございます。こちらは会議が終わりましたら回収させていただきます。そのほか、当日配付として館報がございます。八木が谷公民館、海老が作公民館、坪井公民館の館報が後から届いているでしょうか。また、令和 7 年度家庭教育セミナーのまとめということで、冊子が 1 つございます。それと、市の総合教育センター発行の教育情報誌「まなびの風（第 85 号）」がございます。

以上、お手元に書類はございますか。ない方がおられましたら、お手を挙げていただければと思います。

また、会議録作成のため、株式会社トークアトラスのスタッフが同席させていただいております。よろしくお願いいたします。

それでは、委員長から一言ご挨拶をよろしくお願いいたします。

○朝隈委員長

皆さん、こんにち。梅雨とは言いながら、毎日うっとうしい日が続いておりますけれども、皆さんの顔を拝見するとお元気そうで何よりでございます。

それから、公民館が古くなってきていろいろと工事に入っておりますけれども、この間、三咲公民館を利用しているお友達が、今度三咲公民館が改修で長いこと閉鎖してしまうので、ほかの公民館に行くのは遠いし億劫だなというようなことを言っていました。閉鎖中に公民館離れとかサークル離れ、そのようなことがないように、各館長たちには申し訳ないけどいろいろと努力していただきたい。配慮していただければと思います。

○事務局（北部公民館長補佐）

朝隈委員長、ありがとうございました。

続きまして、北部公民館長よりご挨拶申し上げます。

○北部公民館長

皆さん、こんにち。北部公民館の片岡です。着座にて失礼します。

私からは、2 点ほどお知らせ事項がございます。

1 点目は、公民館を避難所として開設したご報告になります。先の 3 日付で、東海や関東を

通過した台風6号により、2日19時から翌日3日の14時10分まで、休館中の館を除く市内公民館と一部の小学校等を避難所として開設しております。開設に当たり、予約済みの団体には、ご連絡してキャンセルしていただくことで公民館事業は全て停止し、避難所として開設することになりました。避難状況としては、松が丘公民館に1名、新高根公民館に1名、計2世帯、2名が避難されました。本市全体の被害状況としては、台風が当初の想定よりも南にそれておりましたので、数か所の冠水、倒木等はありませんでしたが、市内に大きな被害はございませんでした。

2点目については、休館のお知らせです。今、委員長からもお話いただきましたが、三咲公民館がトイレ等改修工事のため、来月から来年の3月末日までの9か月間、休館に入ります。他の休館としては、中央公民館が現状もう休館に入っておりまして、10年の1月まで、薬田台公民館、高根公民館、丸山公民館が6月から来年の3月末日まで休館となっています。休館する旨は今年2月に全市的にアナウンスしており、三咲公民館利用団体には個別に通知し、近隣の公民館を利用するようお願いしているところです。

以上になります。

私としましては、本会議の在り方について、前回の会議で委員長からご提案いただき、皆様にもご承認いただきました質疑の活性化等を実現することで、この会議のさらなる充実を図ってまいりたいと考えておりますので、委員の皆様のご協力のほど、引き続きよろしくお願いいたします。

○事務局（北部公民館長補佐）

北部公民館長、ありがとうございました。

次に、本日の会議の成立の有無についてご報告いたします。

本日は欠席の委員の方がおりませんでした。結果、本日の審議会では委員10名中10名の出席をいただいておりますので、半数以上の出席がございますので、船橋市公民館条例施行規則第15条第3項の規定により、この会議は成立いたします。

次に、会議の公開につきましては、船橋市情報公開条例第26条及び船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱の規定により、当審議会も原則公開になります。議事録の作成のため、会議の内容を録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。議事録につきましても、後日、船橋市のホームページで公開となります。

本日の議事のうち「社会教育関係団体登録申請（新規）」につきましては、船橋市情報公開条例第7条第1項第2号に基づく不開示情報でありますので、個人に関する情報を審議することから、同条例第26条第2号に該当するため、非公開となります。よって、当該資料につきましては、会議後に回収させていただきます。

また、この会議の開催について市のホームページで事前に公表し、傍聴人の定員を5名とさせていただきます。なお、本日の傍聴人はおりません。

以上となります。

議事（１） 事業報告（４月１日～６月２２日）

○朝隈委員長

ただいまより、令和８年度第２回北部公民館運営審議会を開催いたします。

では、議事に進みたいと思います。本日の議事は、お手元にある資料のとおりでございます。議事（１）「事業報告」については、事業内容を事業計画のときに既に説明しているため、結果について報告を要する事項に絞るようお願いいたします。

では、議事（１）「事業報告（４月１日から６月２２日）」について、北部公民館より順次ご説明をお願いいたします。なお、ご意見、質問等につきましては、８公民館の説明終了後に受けたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、北部公民館さんから、よろしくお願いいたします。

○北部公民館長

北部公民館の４月１日から６月２２日までの事業報告をご説明させていただきます。

１ページをお開きください。「ふなばしハッピーサタデー事業」の６月２０日の参加者数ですが、９名でしたのでご記入ください。

続いて、一番下の「とよみスタディースペース」ですが、４月は６名、５月は９名でした。例年、夏休み期間になりますと、中高生を中心に利用者が増加してくる傾向にあります。

次のページをお開きください。「菊づくり講習会」の参加者数は、６月２１日が９名でしたのでご記入ください。

次に、高齢者対象の「豊富寿大学」の６月１８日の参加者数は２２名でした。年度が替わり参加者を募集し直した中で、例年、募集の通知は「広報ふなばし」の４月１日号に掲出していましたが、北部公民館の管区は人数がなかなか集まらないことから、新たな取組として、豊富地区連合町会の各町会長にご協力いただき、募集のチラシを回覧していただきました。結果、お問合せは数件いただいたものの、今報告したとおり、人数が他の公民館と比べても非常に少ない状況にあります。その為、なぜ参加していただけないのかというところは、今後いろいろところでアンケートを取るなどして分析していきたいと思っております。以上になります。

次のページの複数対象の「社会教育関係団体研修会」です。このたび、公民館利用団体の手続の省力化を図り、毎年提出いただいていた団体登録申請書の様式を省略したので、これらを説明し、ふだんは認識が薄い有事の際の避難路、避難口、消火器等の位置を団体に学んでいただきました。２３団体中１５団体、２０名が出席し、欠席団体には利用の際に窓口で個別にご説明をしております。

次のページをお開きください。「卓球開放」の６月１３日の参加者数は８名でしたので、ご記入ください。

北部公民館からは以上になります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、二和公民館さん、お願いします。

○二和公民館長

二和公民館の主な事業についての報告をいたします。

初めに、青少年対象の「ふなばしハッピーサタデー事業」です。6月6日の「親子で育ててみよう お米マイスターの講話とバケツ稲作り」についてご説明いたします。小学校の1年生から3年生は親子で8組16名、4年生から6年生は子供のみで8名の参加にて開催いたしました。講師からお米についての説明や話があり、台風に強い「ふさこがね」の苗をバケツに植えて講座は終了となりました。今回の事業の回数にはなりません、8月に一回子供たちが来て、お米を確認してお水をあげる日を設け、10月に刈取りをする予定です。あらかじめ自宅に持ち帰るコースと公民館で預かるコースを設け、ほとんどの方は公民館で預かるコースを選択し、ほかのハッピーサタデーの機会などに見に来てもらうようにいたしました。アンケートでも「お米のことが分かってよかった」、「お米づくりが楽しかった」などの意見があり、子供たちには大変楽しく学べる講座にすることができました。今後、台風や暑さなどきちんと生育するか心配は尽きませんが、職員も毎日見て、何かあれば講師に相談するなどして、立派なお米に育ってくれるように祈るばかりでございます。

次に、成人事業でございます。2ページ目に移りまして、一番上の「足裏リフレクソロジー講座」です。昨年度も開催し、そのときは全2回の講座を一度開催いたしましたが、抽選漏れた方が多く、もう一度開催してほしいという話が多かったため、今年度は、今回の講座と別に、同じ内容の講座を1月に開催する予定でございます。なお、評価などは記載のとおりです。

次に、高齢者対象事業です。こちらは記載のとおり開催いたしました。「二和寿大学」の6月18日の参加者数は79名です。

次に3ページ、上から2つ目、「二和地区社会福祉活動支援事業」の6月15日の参加者数は43名です。

最後、複数対象事業でございます。3ページの「巡回児童ホーム事業（0・1・2歳ぽかぽか広場）」の6月10日の参加者数ですが、訂正をお願いいたします。記載は15名となっておりますが、22名に修正をいただければと思います。

次に、4ページに移りまして、上から2つ目、「二和名画座」の6月17日の参加者数は256名です。大変大勢の方にお越しいただきました。

その次、「二和劇場」でございますが、こちらの参加者数は333名でございます。記入をお願いいたします。

最後に、「二和たのしい歌のつどい」でございますが、こちらは「ふたわ歌のつどい実行委

員会」との共催事業でございます。原則として偶数月に一回の開催でございますが、毎回季節に合わせて歌を変えながら、参加者も楽しく参加しております。サークル化などは難しい現状ではございますが、新しい参加者や再び参加される方も一定数おり、引き続き開催していきたいと考えております。

そのほかは記載のとおりです。

二和公民館からは以上です。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、海老が作公民館さん、お願いします。

○海老が作公民館長

海老が作公民館でございます。

まず初めに、青少年、「ふなばしハッピーサタデー事業」の6月20日でございますが、参加者人数の記載をお願いいたします。24名でございます。

続きまして、成人の「健康体操セミナー」は、6月15日の人数の記載をお願いいたします。36名でございます。こちらの「健康体操セミナー」は、人数的には非常に安定して参加されております。楽しく汗を流す人気の事業でございますが、共催の大穴スポーツクラブと公民館の両方でイベントのPRと申込みを行っていることがそういった内容につながっていると考えております。また、同クラブの当日のサポート体制も厚いことから、今後さらに人数が増えても、60人程度までは開催可能と考えているところでございます。今後も継続して実施していきたいと考えております。

続きまして、次ページに移ります。「学びの糸口～心楽暮（こらぼ）」です。こちら6月12日の人数の加筆をお願いいたします。15名です。6月19日の人数も15名でございます。

続きまして、高齢者の「海老が作寿大学」です。こちらの6月18日の人数の加筆をお願いいたします。49名でございます。

続きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」でございます。こちらは、参加者が4月、5月と伸び悩んでいたところですが、6月に入りまして少しずつ増えてきております。高齢者の体操のイベントが少し増えてきていることもありまして、既存の参加されている方が全てに参加するのも難しいということで、好みの事業を選択しているところもあるのかなと感じています。対策としまして、新しく参加される方を増やす取組を今後公民館で考えたいと思います。

続きまして、次のページ、複数対象に移らせていただきます。「ファミリー卓球」の6月21日の人数の加筆をお願いいたします。29名です。

続きまして、「子育てプレイルーム」、次ページに移っていただきまして、「巡回児童ホーム事業」となります。「巡回児童ホーム事業（小学生わくわく広場）」の6月17日の参加者数の加筆をお願いいたします。13名でございます。

最後に、「社会教育関係団体研修会」でございます。社会教育関係団体に関する一貫した意識の確認、ルール確認ができたと感じているところでございます。

海老が作公民館からは以上です。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、小室公民館さん、お願いします。

○小室公民館長

小室公民館の主な事業についてご報告いたします。

最初に、青少年対象の「ふなばしハッピーサタデー事業」です。5月は、毎年恒例のアンデルセン公園まで歩いていく「ハッピーウォーク」を実施しました。今年で14回目を迎え、今回も募集開始から1時間余りで定員いっぱいとなりました。今年は天候にも恵まれ、青空の下、子供たちは元気にアンデルセン公園まで2時間の道を歩き通しました。公園到着後はみんなでお弁当を食べ、アスレチックや水遊びを楽しみ、目いっぱい体を動かすことができました。今年も全員5.6キロの道のりをしっかり歩き通すことができ、けがもなく無事に戻ってこられました。毎年参加している兄弟姉妹もあり、人気の高さを感じております。

続きまして、5月に「東大卒が教えるノート術」をご覧の日程で開催しました。当日は参加者の半数以上を保護者が占めるなど、受験を控えた子供を持つ保護者の関心の高さがうかがえました。講演では、モチベーションを保つ勉強法や、読み返したくなるよう分かりやすく自分のオリジナルノートをつくるコツなどの話があり、講師が実際に使っていたノートを参加者に見せたこともあり、より具体的なノート術が理解できたと思います。講座終了後も講師へ個別に質問する参加者の列ができるなど、有意義な機会となりました。

実施後のアンケートでも「非常に参考になった」という意見が大半で、中には中学生から「これから東大を目指したい」といった意欲的な感想も寄せられました。今回の講座は、思ったより中高生の申込みが伸び悩みましたが、参加した中高生の中には、「勉強の仕方に悩んでいたが、今日の講座ですっきりした」という意見もあり、講座を実施した意味があったと考えております。

続きまして、成人対象事業です。2ページ目をご覧ください。「歴史講座」としまして、「豊臣の時代～教科書には出てこない時代の裏側～」をご覧の日程で開催しました。今年のNHK大河ドラマ「豊臣兄弟！」にちなんで開催しましたが、参加者37名のうち男性参加者が24名と予想以上に男性の参加が多く、日頃公民館の利用が比較的少ない男性客の利用を促進する一つの参考になる事例ができたと考えております。

内容的には、講師が作成した豊臣家の系図などの資料を活用し、現在放映中の大河ドラマの各場面について演出と史実を比較しながら分かりやすく解説をしました。終了後のアンケートでも、歴史をテーマとした事業への要望が多く寄せられたことから、今後も歴史を題材とした講座を実施していきたいと考えております。

高齢者事業に移りまして、「シニアのための美容教室」をご覧の日程で開催しました。今回は65歳以上を対象に募集し、定員12名のところ26名の申込みがあり、抽選で受講者を決定しました。講座では、まずカラーコーディネートや顔診断、骨格診断などの説明をし、一人一人に適した眉の描き方を個別指導しました。参加者は自身の特徴に合わせた具体的なアドバイスを受けることができ、満足度の高い講座となりました。グループに分かれて座っていただき、クイズを出題し、優勝グループには記念品の進呈をしたことから、参加者同士の交流も図れ、参加者には楽しんでいただけたと考えております。

3ページに移りまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」ですが、6月19日開催分の参加者数は37名となりました。ご記入をお願いします。

続いて、「料理サロン」につきましては、参加者数が14名となりましたので、ご記入をお願いいたします。

複数対象事業に移りまして、「小室公民館本館家庭教育セミナー」で「お天気キャスターのお仕事講座」を実施しました。参加者数は10組28名となりましたので、ご記入をお願いいたします。講師が、気象予報士になってよかったことや仕事のやりがいなどの話に加え、気象予報士になるためには合格率約5%の試験を突破する必要があること、仕事が煩雑であることなど仕事の苦労話もしてくれました。その後、子供たちがお天気キャスターになりきって、原稿をつくり、読む体験をしました。アンケートでは、「華やかな職業の裏側を垣間見られて、子供たちも覚悟ができたのではないかと思います」という感想や、「将来の職業の話をぜひ今後も聞きたい」という意見もありました。今後も継続して仕事に関する講座を開催していきたいと考えております。

次の「親子でリトミック」は参加者が7組となりましたので、ご記入をお願いします。

4ページに移りまして、「小室おもちゃの病院」の6月21日開催分の利用者は3名、依頼件数は3件となりましたので、お手数ですがご記入をお願いいたします。

小室公民館からは以上です。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、八木が谷公民館さん、お願いします。

○八木が谷公民館長

八木が谷公民館の4月1日から6月22日までの主な事業について説明させていただきます。

最初に、青少年事業の「空き部屋開放事業」でございますが、別途図書コーナーでの子供の自習スペース提供事業があり、自習スペースで間に合っているため、実績としては0名となっております。

続きまして、このページの一番下の「ふなばしハッピーサタデー事業」でございます。こちらでも人数の記載をお願いします。6月20日、人数が10名でございます。包括連携協定を結

んでおります損害保険ジャパンさんに、防災を目的とした講座をお願いいたしました。当日は、新聞紙による紙食器づくりや、ポリ袋でポンチョをつくろう、また、防災に役立つものの絵などにボールを当てて得点を競うゲームなどを行いました。参加者は少なかったものの、子供たちはとても楽しそうに、また真剣に行っていました。

報告2ページをお願いいたします。高齢者対象の「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」でございます。こちらにつきましては、令和6年、7年とも実績としては、平均42名の方が参加しておりました。今年度は2つの講座を合わせまして平均が48名となっております。こちらはやや多めとなっておりますが、初めて参加の方がいらっしゃるほか、たまたま聞いた方ですが、「ほかの公民館でできなくなってしまったので来ました」という方も中にはいらっしゃいました。

続きまして、報告3ページ、「八木が谷寿大学」でございます。人数の記載をお願いいたします。6月18日の人数は119名でございます。5月には、開講式と、株式会社明治さんによる講座「カラダは食べた物からできている」を行いました。バランスのよいものや口から食べるものの意義について学んでおります。6月には「終活のポイント」を京葉行政書士さんにより行いました。終活の課題として、心身の衰えに備えることや病に備えること、また、葬儀やお墓の終活、相続に備える終活などを学んでおりました。参加者の皆さんはとても真剣に聞いておりました。

続きまして、「健康セミナー」でございます。6月3日は台風により中止になってしまいました。こちらの1回目の講座の内容につきましては、3月のセミナーと一緒にやることを現在検討しております。

続きまして、「いきいきサロン」でございます。人数の記載をお願いします。6月17日の参加人数は9名でございます。

続きまして、報告4ページをお願いいたします。中段の「子育てサロン」でございます。6月15日の人数は12名でございます。

続きまして、「卓球開放」です。こちらについても人数の記載をお願いします。6月の参加人数は28名でございます。

八木が谷公民館からは以上でございます。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、三咲公民館さん、お願いします。

○三咲公民館長

三咲公民館です。よろしくお願いいたします。

先ほど北部公民館長よりお話がありましたが、三咲公民館は来月から改修工事のため休館になる予定です。このため、事業報告と今回の事業計画につきまして、表の右側にある備考欄の何分の何となっているところは主に6月までの実施回数となっておりますので、ご了承い

ただければと思います。

それでは、三咲公民館より、4月1日から6月22日までの事業報告についてご説明させていただきます。

最初に、青少年対象事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」ですが、5月30日に「モルック体験」と「けん玉教室」を午前と午後に行いました。

続きまして、「三咲公民館学習室」ですが、今年度はまだ空き部屋の利用はありません。お手数ですが、参加者数欄に0のご記入をお願いいたします。

次に、高齢者対象事業ですが、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」の第2金曜コース、次のページの第3金曜コースを記載の日程で行いました。報告1ページの第2金曜コースですが、4月10日につきましては、当日の天気が悪く雨が降ってしまして、その影響なのか、残念ながら参加された方がいつもより少ない状況でございました。6月の参加者数のご記入をお願いいたします。第2金曜コースの6月12日は28名、次のページの第3金曜コースの6月19日は29名です。

続きまして、「デジタルデバイド対策講座」は、スマートフォンの入門講座とLINE体験の2講座を行いました。両方の講座を受講される方も5名いらっしゃいまして、貸出し用のスマホを使って講座を行ったため、これからスマホを検討されている方も参加できる初心者向けの講座となりました。

続きまして、「三咲寿大学」ですが、こちらも開催を1か月早めて4月から行いました。「三味線コンサート」も「国際交流講座・変面ショー」もたくさんの参加があり、大変盛り上がりました。

次のページです。「認知症予防教室」ですが、今月に4週続けて行う予定で、そのうち3回が終了いたしました。参加者数のご記入をお願いいたします。6月11日は17名、6月18日は16名でした。

次に、複数対象事業です。「社会教育関係団体研修会」は、公民館を利用する際のルール等を再確認してもらい、また、7月からの休館についても改めて説明させていただきました。

次の「助産師さんのベビーマッサージ」、次のページの「英語であそぼう」は、三咲児童ホームと共催で実施し、今年度は休館により1回ずつの開催となりました。

次の「おもちゃの病院」も記載の日程で行っております。6月13日の利用者、依頼件数のご記入をお願いいたします。利用者は3名、依頼件数は4件でした。

「卓球開放」、「図書コーナー運営事業」も記載の日程で実施いたしました。「卓球開放」の6月19日までの参加者は45名でした。また、「図書コーナー運営事業」の6月の利用者は14名、貸出冊数は23冊でした。なお、休館までに貸し出した図書を返却していただくため、貸出しを6月10日までとしており、それ以降につきましては、6月14日、17日、21日は返却のみを受け付けるという形を取っております。

三咲公民館からの事業報告は以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、松が丘公民館さん、お願いします。

○松が丘公民館長

松が丘公民館でございます。令和8年4月1日から6月22日までの事業報告についてご説明いたします。

初めに、青少年事業です。上段の「ふなばしハッピーサタデー事業」の6月20日、「カタコトカタコト フィルム映写機の映画会」の参加人数のご記入をお願いいたします。こちらは29名です。5月の工作では、自分で折った紙飛行機で参加者全員による即席の紙飛行機大会を行いました。子供たちは大いに盛り上がり、楽しい交流の機会となりました。また、6月の映画会では、デジタル映写が主流となった現在、フィルム映写機による映画鑑賞という貴重な体験の場を提供できました。子供たちにとっても、映像文化に触れるよい機会になったものと考えております。

その他、青少年事業につきましては記載のとおりです。

次に、成人事業です。下段、「リフレクソロジー体験講座『足裏リフレ』」につきましては、昨年度に引き続き定員を超える応募がございました。参加者が実際に体験しながら健康づくりについて学ぶことができ、アンケートでも大変高い評価をいただきました。また、比較的若い世代の参加者も見られ、健康づくりへの関心の高さがうかがえることから、今後も生活に取り入れやすい健康講座の充実を図ってまいります。

続いて、報告2ページ、高齢者事業です。まず、記載のない参加者数のご報告をさせていただきます。中段の「松が丘シルバーリハビリ体操教室」の6月17日は42名、下段の「介護予防講座『楽しくトレーニング教室』」の6月11日は24名です。お手数ですが、ご記入をお願いいたします。

続きまして、報告3ページ上段、「高齢者仲間づくり支援事業 ふれあいサロン」の6月11日の参加者数は21名、中段の「シルバー男の料理教室」は7名です。ご記入をお願いいたします。「シルバー男の料理教室」は社会福祉協議会との共催事業として実施しております。参加者募集については公民館でのポスター掲示やチラシ配布など積極的に行っておりますが、継続して参加される方が多い一方で、新規参加者の拡大が課題となっております。調理内容については、季節に合った栄養価の高い献立を講師が工夫して作成しており、毎回大変好評です。次回は、「災害時に備える備蓄食品と食事について」をテーマに実施する予定と伺っております。

続きまして、「松が丘寿大学」です。6月18日の参加者は110名でした。ご記入をお願いいたします。5月と6月、2回連続で雨天となりましたが、それぞれ110名を超える参加者がありました。

また、今年度から開始した新規事業「松が丘寿大学『放課後部活動 文化部』」は14名の

参加となりました。ご記入をお願いいたします。この講座ですが、寿大学終了後の継続的な学びや交流の場として開始したもので、初回は、午前に郷土資料館の企画展示の裏側のお話、午後は市の所蔵作品を活用した「ふなばしアートカード」による美術鑑賞体験を実施しました。市の学芸員を講師に迎えたリレー形式の実践により、アートに触れる一日を創出いたしました。参加者からは「また参加したい」といった声も聞かれ、充実した学びと交流の機会となりました。今後も参加状況を見ながら内容の充実を図ってまいります。

続きまして、報告4ページ、上段になります。高齢者の社会参加を支援するための船橋市生きがい福祉事業団と連携して、「働くシニアの仲間たち シルバー人材センターを知ろう！」を開催いたしました。前回の審議会では、さらに先の日程で調整しておりましたが、入会説明会につながる時期に合わせて開催するのが良いということで、この日程で開催したものです。当日は天候が悪く参加状況を心配しておりましたが、5名の方に参加いただきました。説明会後には、入会を見据えた相談につながった方も多く、事業団にも大変喜ばれました。船橋まで行かずとも、北部地域での就労や社会参加の情報を得られる機会を提供できたことは有意義であったと考えております。

次に、複数対象事業です。「社会教育関係団体研修会」では、登録49団体中43団体、58名にご参加いただきました。社会教育関係団体としての役割や公民館利用に関する研修を実施するとともに、文化祭やサークル見学、体験会について説明を行いました。また、見学希望者への対応方法や緊急連絡先についても周知するなど、円滑な団体運営に向けた情報共有を行うことができました。

続いて、報告5ページの上段、「卓球バレー教室」です。こちらの6月12日の参加者数は21名でした。ご記入をお願いいたします。昨年度の試行実施時期には5名に満たない回もありましたが、今年度は20名を超える参加が見られるようになり、少しずつではありますが、地域住民同士の交流や仲間づくりの場として定着しつつあります。

続いて、中段の「学習スペース提供事業」の利用者数は160名、その下の「空き部屋開放事業」については4名となります。ご記入をお願いいたします。こちらについては、利用者数はまだ多くはありませんが、子供たちの居場所づくりや学習支援の観点から、学校とも連携しながら継続して周知を図ってまいります。

最後に、「卓球開放」の6月の参加者数は65名です。

以上で事業報告の説明を終わらせていただきます。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、坪井公民館さん、お願いします。

○坪井公民館長

坪井公民館でございます。事業報告をさせていただきます。

まず、「ふなばしハッピーサタデー事業」の6月20日の「親子ナイトシアター」の参加者

でございますが、42 名でございます。ご記載をお願いいたします。

続きまして、「歴史講座 家康が築いた旧江戸城物語」です。まず、「江戸城址になぜ天守閣がないのか」につきましては、1657 年の明暦の大火で消失して以来、天守閣がないとのことでございますが、端的に申し上げますと、町の復興を優先しまして再建しなかったとのことでした。参加者の様子を見ていましたら、いかにも歴史に詳しそうな方、そうでもない方、いろいろいらっしゃいましたけれども、皆さん楽しそうにお話を聞いていらっしゃいました。6 月 11 日は、実際に歩いて現場を見てきたものでございます。参加者につきましては 17 名でございます。

次に、「デジタルデバйд対策事業 触っておぼえる！スマホの基本とキャッシュレス」でございます。参加者が皆高齢の方で、スマホの操作には不慣れな様子が見られましたが、講師のお話の切れ目で積極的に質問をされていまして、講師もそれに丁寧に受け答えをする中で理解を深めていく様子が見られました。高齢者の方は一般的にはこういったことには不慣れな方が多いと思いますけれども、やはり通り一遍の説明ではなく、やり取りをしながら聞いていくと理解がしやすいのかなといった印象を受けました。

次のページに行きまして、「健康ウォーキング講座」でございます。こちらにつきましては、講師の方が 70 代で、明るく非常に快活な方でございました。参加者は高齢者が多く、年が近いということもあったと思いますけれども、非常にやり取りが活発で、皆さん楽しく参加をされていまして。参加者の方は皆さんお知り合いではなく、その日に会った方ばかりだったのですが、なぜか一体感が生まれていて、そういった面でも非常によかったと思いました。

次に、高齢者事業の「坪井みのり学級」でございます。6 月 12 日の参加者数ですが、62 名でございます。ご記入をお願いいたします。

次に、3 ページに行きまして、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」でございます。こちらにつきましては、6 年度と 7 年度を比較いたしますと、参加者数の減少が見られております。先ほどお話が出ていましたけれども、やはり新規の方を確保していかないと、参加者が減っていってしまうと思いますので、講座の効能や内容をうまく宣伝していく方法など、そういったことに関して少し考えてみたいと思っております。

次に、一つ飛ばしまして、『『プラレール』～プラレールで遊ぼう～』でございます。これは従前から継続している事業でございます。今回は子供だけではなく保護者を対象にしたものを一つ実施しまして、レールを複雑につなぐなど、そういったやり方に関して保護者の方に講師が解説をするといった時間を設けました。参加者自体は 2 家族にとどまりましたけれども、参加された方はプラレールに詳しい方でして、家でつないだらここはうまくいかないとか、そういった質問をされていまして。参加された方は満足されていたと思います。

次の 4 ページに参りまして、こちらに記載の 3 つの事業につきましては、記載のとおり実施をいたしました。

坪井公民館のご説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

では、議事（１）につきまして、ご意見、ご質問等、何かございますか。ページ数と公民館名を挙げて質問していただきたいと思います。

ないようでしたら、次に進んでいきたいと思いますが、よろしいですか。

それでは、意見やご質問がないようであれば、議事（１）につきまして承認するものとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○朝隈委員長

ありがとうございます。異議がないようですので、議事（１）「事業報告（４月１日～６月２２日）」につきまして承認いたします。

議事（２） 事業計画（６月２３日～９月１４日）

続きまして、議事（２）「事業計画」のほうに移らせていただきます。６月２３日から９月１４日まで、各公民館長から説明願います。先ほどと同じく、ご意見、ご質問等につきましては８公民館の説明終了後に受けたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、北部公民館さん、よろしくお願いいたします。

○北部公民館長

北部公民館の事業計画について、主なものをご説明いたします。

計画１ページをお開きください。青少年対象の事業として、上から３つ目の「豊富わっしょい！！～子どもまつり～」です。例年２月に実施しておりました子どもまつりの時期をずらし、昨年初めて実施した豊富小・中学校 PTA 主催の祭りと合体させて実施します。公民館、豊富小学校校庭、体育館、この３つを祭りの会場とし、地域の高校、保育園、スポーツ推進委員等の各団体の協力を得て、子供たちの遊びと交流の場にしたいと思っております。

次のページをお開きください。成人対象として、「終活講座」です。昨年も実施し、好評を得ております。税や相続等を学んだ昨年の内容とは異なるテーマとし、「心身の衰えに備える」としておまして、こちらの内容としましては、成年後見制度、財産管理、終末期の施設入所や在宅医療、自宅での話、施設入所に伴う財産処分等を学んでもらいます。既に募集を終え、「広報ふなばし」掲出の数日後には満員となっております。

次に、その下、高齢者対象の事業として、「豊富寿大学」です。船橋市誕生の際に合併しました旧豊富村を含む農村の伝統が残るこの地域の歴史について、郷土資料館が保存・管理している当時の農機具等を観察しながら学んでいただき、参加者の幼少時代等を懐かしみながら郷土史を学んでいただく機会にできればと思っております。なお、８月は猛暑を考慮し、実施しないものとします。

次に、3 ページの一番下、複数対象の事業として、「みんなでボッチャ体験」です。手軽に楽しめるパラスポーツであるボッチャは毎年実施をしておりますが、大分この地域に普及してきております。様々な年代と一緒にチームスポーツをすることで、パラスポーツの普及啓発とともに、子供から高齢者までの世代間交流を図ります。

次のページをお開きください。「北部公民館サークル活動展示」です。既存団体の高齢化等による団体会員の減少または解散等が顕在しておりますが、日頃の活動成果である団体の作品等を一定期間ロビーに掲出することで、来館者がサークルの活動内容に触れる機会を増やし、サークルの会員等の拡大に資するものとします。

北部公民館からは以上でございます。

○朝隈委員長

ありがとうございます。

次に、二和公民館さん、お願いします。

○二和公民館長

二和公民館の主な事業計画についてご説明いたします。

まず、青少年事業です。「ふなばしハッピーサタデー事業」は記載のとおり開催いたします。

その次、「SDGs 学習体験教室（ふたわアート教室）」でございますが、こちらは環境学習の一環として開催いたします。色つきのリサイクルガラスビーズを使って、それを植物や花などの下絵に貼り付けて作成します。ガラスアートを通して環境に興味を持ってもらえたらと考えております。

その次、「読書感想文の書き方講座」でございますが、こちらは現在日程調整中のため、未定としております。内容に関しましては記載のとおりで、小学生を対象とします。1・2年生は講師の説明なども含めて難しい部分もありますので、親子での参加としております。なお、3年生以上は子供のみでの受講として開催予定でございます。

次に、成人事業です。1 ページ最後の「ふたわ多文化教室」は、ベトナムについて学習をいたします。初回はベトナムの文化や習慣を学び、2 回目の講座はベトナム料理でありますバインミーをつくります。バインミーとはバゲットを使ったベトナム発祥のサンドウィッチで、今回は焼肉などを挟み込んでつくる予定でございます。

次のページに参りまして、高齢者事業でございます。「二和寿大学」は、「サマーコンサート『みんなで歌おうフォークソング』」と題しまして、寿大学の参加者以外も別途の申込みで参加受付をし、公開講座として開催予定でございます。

そのほかは記載のとおりです。

次の計画 3 ページ、複数対象事業でございます。一番下の「親子で夏休みケーキ作りレッスン」は、夏休みの長い期間を使って親子で楽しく料理をする機会として開催します。小学生親子を対象に、パイナップルのケーキをつくります。

最後 4 ページでございます。一番上、「サークル活動支援事業」ですが、サークル体験会と

いたしまして、7月中に各サークルの活動を自由に体験してもらう機会として開催予定でございます。参加サークルは、二和公民館の社会教育関係団体 68 団体中 46 団体を予定しております。

二和公民館からは以上でございます。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次に、海老が作公民館さん、お願いします。

○海老が作公民館長

海老が作公民館の事業計画をご説明させていただきます。

まず、青少年でございます。「ふなばしハッピーサタデー事業」といたしまして、内容は「ボッチャ&モルック体験」と、2つのスポーツを同時に体験していただく計画をしております。人数 40 名の中で両方体験するのは一見難しそうに感じるころではございますが、海老が作の講堂は割と広くできておりますので、同時に両方のコートを作製可能でございます。2つのコートを張りまして、皆さんに両方のスポーツを実践してもらうことが可能であると考え、計画しているところでございます。

続きまして、成人です。「学びの糸口〜心楽暮（こらぼ）」は、以下のとおり計画しております。

次に、「楽しく学ぼう筆ペン講座」です。こちらは毎年行う人気の講座でございます。

続きまして、高齢者です。「海老が作寿大学」は、7月16日の講師が、少し読みづらいのですが、楽遊集さくら太鼓（らくゆうしゅうさくらだいこ）さんとなっております。太鼓の演奏を披露していただく予定をしております。

続きまして、「シルバー料理教室」です。こちらは対象者を少し限定させていただきまして、高齢者の男性を対象にしているところです。こちらは、簡単にできる料理を学んでいただくという趣旨でございますので、対象者を限定させていただいて、料理が苦手なお父さんでもつくれる料理教室というところで行わせていただく予定をしております。

次ページになります。「生き生きと若々しく過ごすための教室」、「ふなばしシルバーリハビリ体操教室」はどちらも体を動かす教室で、以下のとおり行う予定をしております。

続きまして、「いきいきサロン『花梨』」を記載のとおり実施いたします。

続きまして、複数対象になります。「ファミリー卓球」、「子育てプレイルーム」、こちらのほうも記載のとおり開催を予定しております。

続きまして、「巡回児童ホーム事業」でございます。こちらは現在行っているところですが、やはり地域的に高齢者率の高い地域でございますので、子供に来ていただけると非常ににぎやかになることから、PRも公民館で図りまして、たくさん来ていただけるように努力していきたいと思っております。

続きまして、「七夕コンサート」です。今回はフルートとピアノによります「星に寄せる調

べ」を行いたいと思います。

次に最終ページでございます。「卓球団体交流会」は、海老が作公民館で通常活動しているサークル5団体が一挙に集う卓球の交流戦で、優勝を目指して日々練習している成果を出す大会となっております。

以上で海老が作公民館の計画を終わりにいたします。

○朝隈委員長

ありがとうございます。

次に、小室公民館さん、お願いします。

○小室公民館長

小室公民館の主な事業計画についてご説明いたします。

まず、青少年対象としまして、「ふなばしハッピーサタデー事業」です。7月25日に「夏のタベの会」を開催します。小室中学校の校庭で、参加者がそれぞれ手持ち花火を持ち込み、花火を楽しみます。日頃花火をする場所や環境のない子供たちが花火を楽しめるよう開催しており、毎年多くの親子連れが参加しています。当日は、青少年育成会から凍らせたジュースや光るブレスレットなどのプレゼントもする予定です。

同じく7月25日に、「夏休みこども環境講座」を実施します。1部ではゲームをしながら地球温暖化とSDGsについて学び、2部ではソーラーカーを作製するなど、環境について楽しみながら学ぶ講座です。

8月には「ダイヤモンドアート教室」を実施します。図案が描かれたキャンパスにダイヤモンドのようにカットされたビーズを貼り付けてつくるアートで、小さなパーツを一つずつ並べていくことで、完成するとキラキラと美しく輝くモザイク画のようになります。今回は熱帯魚やカメなど海の生き物のコースターをつくります。

次の「夏休み読書感想文教室」は、読書や文学に興味を持ってもらえるよう毎年開催しており、今年度も実施いたします。

次に、成人対象事業としまして、「朗読音楽劇場」です。「幻影～小泉八雲の世界～」をご覧の日程で開催します。昨年は宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を題材に実施しましたが、非常に評判がよく、「再度実施してほしい」という声が多かったことから、今年はNHK朝の連続テレビ小説「ばけげん」にちなみ、題材を小泉八雲にして開催することとしました。「耳なし芳一」など4つの演目を、フリーアナウンサーや朗読講師がシーン映像をスクリーンに映しながら、シンセサイザーによる音楽とともに上演します。

2ページに移りまして、「ジャズ入門講座」をご覧の日程で開催します。こちらも昨年開催し、人気が高く何人もお断りしたことや、受講者から「ぜひ続きを開催してほしい」という声が多かったことから、今回はモダンジャズをテーマに音楽理論など作品の背景を紹介します。懐かしいアナログレコードの試聴もあり、コーヒーつきで開催し、楽しみながらジャズの理解を深めていただければと考えております。

次に、「講談寄席」をご覧の日程で開催します。講師は千葉市で活動しているアマチュア講師の方々に、歴史物や人情物のほか、消費生活相談員による詐欺予防講談なども交え、楽しみながらためになるような講談を開催します。

そのほか、高齢者対象事業としましては、「小室寿大学」で7月に「卓上のカーリング カーレットを楽しもう」を開催します。グループになってプレーをし、リーグ戦も開催する予定です。受付でランダムにグループ分けをしますので、新しい出会いがあり、交流の幅が広がることを期待しています。

小室公民館からは以上です。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

次は、八木が谷公民館さん、お願いします。

○八木が谷公民館長

八木が谷公民館の6月23日から9月14日までの主な事業について説明させていただきます。

最初に、青少年対象の「ふなばしハッピーサタデー事業」でございます。7月には「卓球バレー」を行います。卓球台の代わりに長机を組み合わせ、ラケットの代わりに板を使用して行うものでございます。また、8月には「MYSK こどもまつり」を、八木が谷地区自治連絡協議会さんとの共催で行います。ゲームコーナーやプラバン、また、模擬店では焼きそば、かき氷を行います。中学生や高校生、地域の方には、ボランティアの参加をお願いしているところでございます。9月は「ヒップホップダンス」としまして、ふだん公民館を利用していない子供たちが来てくれることを期待した事業でございます。

続きまして、「読書感想文教室」でございます。子供たちが苦手としている書き方について、3・4年生を対象に行うものでございます。

ページ変わりまして、計画2ページ、成人対象の「梅雨を乗り越えるスッキリヨガ」でございます。こちらは、夜間事業としてヨガについての講座を開催するものでございます。

続きまして、「新聞ばっぐ」の講座でございます。英字新聞を再利用しましてバッグをつくるもので、新聞の写真や英字の見出しなどがうまく見えるように上手に折ってつくるものでございます。

続きまして、高齢者対象の「健康セミナー」でございます。7月は「がん」に関する講座、8月は腸について、9月は認知症の理解について、包括連携協定を進んでおります明治安田生命さん、千葉県ヤクルト販売さん、あいおいニッセイ同和損害保険さんに講師をお願いするものでございます。

続きまして、計画3ページ、「八木が谷寿大学」でございます。7月には、船橋東警察署のご協力をいただきまして、「交通安全教室・防犯教室」を行います。8月には、「文学講座」としまして、船橋にゆかりのある「太宰治・川端康成と船橋」の講演を行う予定でございます。

八木が谷公民館からは以上でございます。

○朝隈委員長

ありがとうございます。

次に、三咲公民館さん、お願いします。

○三咲公民館長

三咲公民館です。6月23日から9月14日までの事業計画についてご説明させていただきます。先ほども休館についてご説明させていただきましたが、来月7月1日から休館のため、事業計画は今月いっぱいという形になっておりますので、ご了承ください。

最初に、青少年対象事業の「ふなばしハッピーサタデー事業」です。27日に「アニメと工作で楽しく学ぼう地球温暖化！」として、地球温暖化の話やヘリコプターの工作を行います。

「三咲公民館学習室」は、引き続き今月いっぱい小中高生への学習場所の提供を行います。

次に、高齢者対象事業ですが、「三咲寿大学」は24日に今年度最後の「健康体操」を行います。

次の「認知症予防教室」も、25日に4週続けて開催の4回目を行う予定です。

次のページに行きまして、複数対象事業です。「卓球開放」、「図書コーナー運営事業」も記載のとおり実施いたします。「卓球開放」は26日が今年度最後となります。「図書コーナー運営事業」は、先ほどもご説明させていただきましたが、図書の貸出しを6月10日までとしている関係で、表の右端に「貸出冊数」とありますが、返却のみの受付という形になります。

三咲公民館からの事業計画は以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございます。

次に、松が丘公民館さん、お願いします。

○松が丘公民館長

令和8年度の松が丘公民館事業計画について、6月23日から9月14日までの主な取組をご説明いたします。

まず、青少年事業です。「ふなばしハッピーサタデー事業」として、社会教育関係団体の講師をお招きし、「キッズダンス教室」や「パフォーマンスショー」、「バルーンづくり体験」を実施し、子供たちが多様な体験活動に参加できる機会を提供いたします。

その下、今年度も「夏休み読書感想文教室」を開催いたします。小学3・4年生を対象に、子供たちの読書活動の推進と表現力の向上を図ってまいります。

次に、中段の成人事業です。平日開催で好評いただいている「足裏リフレクソロジー講座」を、「夜も★『足裏リフレ講座』～足裏から心と体をほぐす～」として夜間に開催し、平日の日中に参加が難しい現役世代や働く世代にも学習機会を提供してまいります。

その下です。「デジタルデバイド対策事業『触っておぼえる！スマホの基本とLINEの体験』」を開催いたします。こちらでは、高齢者を中心としたデジタル活用への不安軽減を図ってま

います。

計画2ページに移ります。上段の「色を選んで脳を活性化！はじめてでも楽しめる大人の塗り絵教室」です。こちらでは、塗り絵のコツ・楽しみ方を学び、文化活動への参加促進と脳の活性化・集中力アップを図ってまいります。

続きまして、高齢者事業です。下段の「松が丘寿大学」では、昨年度、受講者からも好評でありました健康運動指導士の方を講師としてお招きし、自宅でも継続して実施しやすい椅子に座った健康体操を行います。

その他の高齢者事業は記載のとおりでございます。

続いて、計画4ページ、複数対象事業に移ります。上段の「親子で陶芸に挑戦！」は、社会教育関係団体である松が丘陶芸団体連絡協議会の皆様にご協力いただき実施いたします。

また、その下でございます「親子環境講座」、「親子中国料理教室～家庭で本場の水餃子を作ろう！～」なども夏休み期間に開催しまして、体験活動を通した親子の交流や学びの機会を提供してまいります。

続いて、計画5ページ、上段の「松が丘シネマサロン」です。今回は、夏の特別編篇として、夜間開催を計画しています。指定暑熱避難施設としての役割も踏まえ、夏期期間中の施設の有効活用を図ってまいります。

その他事業は記載のとおりでございます。

今回の期間は夏休み期間を含むことから、子供向け事業を充実させるとともに、高齢者の健康づくりや介護予防事業にも継続して取り組み、地域住民の学習機会と交流の場の充実を図ってまいります。

松が丘公民館の事業計画は以上でございます。

○朝隈委員長

ありがとうございます。

次に、坪井公民館さん、お願いします。

○坪井公民館長

坪井公民館の事業計画についてご説明をさせていただきます。

まず、青少年事業、「ふなばしハッピーサタデー事業」でございますが、7月は「紙芝居鑑賞と工作」、8月は「折り紙」で恐竜などをつくる予定でございます。

続きまして、「こどもサイエンス教室」でございますが、2回シリーズで実験を中心とした講座を開催するものでございます。1回目はルミノールという化合物を使用して実験をしまして、2回目は人工イクラをつくる予定でございます。

続きまして、成人事業の「デジタルデバイド対策事業 触っておぼえる！スマホの基本と詐欺対策」でございます。今回は、スマホの基本操作に加えまして、詐欺対策を学ぶ予定でございます。

続きまして、「薬膳料理講座」でございます。薬膳の基礎を学ぶとともに、自らの身体のこと

と、そして、食材の効能についても知る機会を提供いたします。また、「暑さを乗り切るための薬膳料理」をテーマに調理実習を行います。

次のページに参りまして、「多文化共生『異文化コミュニケーション講座』」でございます。「多文化共生」をテーマに、中国の文化について座学で学び、また、水餃子の調理実習を行います。講師は、船橋市国際交流員の劉琳さんでございます。

続きまして、高齢者対象事業、「坪井みのり学級」でございます。7月は「交通安全教室・防犯講話」を行います。8月はお休みで、9月には、船橋市郷土資料館の学芸員を講師に迎えまして、「時代劇の楽しみ方」という講座を行います。これにつきましては、時代考証の話を中心に行うということでございます。

一番下の「介護予防教室『健康キープ体操』」でございますが、4回シリーズで運動機能向上のプログラムを学びます。

次のページに参りまして、複数対象、「つばい・水と緑のコンサート」でございます。「マンドリンとギターで奏でる Summer Concert」ということで、マンドリン奏者の榊川千明さん、ギター奏者の瀬戸輝一さんをお招きしまして実施いたします。

以下、「おはなしいろえんぴつ」等、3つの事業につきましては、記載のとおり実施いたします。

以上、坪井公民館の事業計画の説明でございます。

○朝隈委員長

ありがとうございました。

それでは、議事（2）につきまして、ご意見、ご質問等、何かございますか。先ほどと同じように、公民館名とページ数を言ってご質問をお願いいたします。

○湯浅委員

（挙手あり）

○朝隈委員長

湯浅委員、お願いします。

○湯浅委員

北部公民館の湯浅です。北部公民館管区の住民の特徴として子供が少ないということが挙げられますが、公民館事業として意識していることは何でしょうか。

○北部公民館長

委員にご指摘いただいたように、北部公民館区は少子高齢化が顕著でして、生産年齢層が少なく高齢者が多いという実情がございます。公立校として、豊富小学校、豊富中学校、特別支援学校の高等部、豊富高校がございますけれども、生徒数の状況は、特別支援学校は近年増加傾向にございますが、小・中学校は学年1クラスと特別支援学級、豊富高校も1クラス20名程度で学年3、4クラスずつと、非常に生徒が少ない状況にございます。総じて、学校活動の中でのクラブや部活動がままならない、人数がそろわなくてスポーツ等ができないような

状況もあります。このような子供たちに、地域の皆さんに向けた舞台の発表の場や作品展示の機会を設け、クラブ活動を支援する事業を公民館が講師を招いて実施しております。本来の学校生活で経験し得る文化活動等や社会交流活動を経験する機会を確保する一助とするために、私ども公民館でいろいろな子供を対象とした事業を計画しております。

今後の子供対象の事業の予定としましては、先ほどこちょっと触れましたけれども、「豊富わっしょい！！～子どもまつり～」というものがございます。今回初の試みとなりますが、冬場に開催していた公民館主催の子どもまつりと、小・中学校 PTA が主催して去年初めて開催した夏祭りを統合して、地域の子供たちに地域のイベント、お祭りとして認知してもらえるようなものを目指しております。内容としては、豊富小学校の体育館、校庭、本公民館の3か所を一体的に祭りの場とし、それぞれ趣向が異なる遊びや文化体験等の場を提供して、豊富の子供たちの楽しい夏の思い出とし、地域への愛着を深めてもらえるよう、現在 PTA 等との企画会議を重ねております。昨日も実行委員会を開いて豊富小学校の教頭先生もいらしていただきましたし、地域の関係者などいろいろご参加いただいております。

また、11月に毎年実施しております文化祭の中でも、子供たちの日頃の成果や学校活動の一環であるクラブ活動、合唱や合奏等の発表の場を設けさせていただきますし、絵画や書などの作品の展示もしてもらって、地域の皆さんに見ていただく機会として内容を充実していきたいと思っております。

このほか、特別支援学校の生徒と地域の皆さんがチームを組んで交流できるようなユニバーサルスポーツを実施し、学校活動で制作した物品を販売する機会を設けることで、公民館を学校外での社会活動、地域交流を豊富の子供たちが体験できる場にしていくつもりです。

以上となります。

○朝隈委員長

ありがとうございました。今年はいろいろと子供関係の事業があるように私も思っております。

行く行くは入学する子供が3名とか4名になるのではないかと、先々ちょっと不安な豊富地域ですけれども、学校といろいろ連携していただいて、校長先生たちにこんなものがないのではないかとかいろいろ案などをいただいて、増えるのは難しいかと思っておりますけれども、豊富から離れていかないようにしていくのがベターなのかなと思います。公民館が中心になって、地域と学校と、私たちもそうですけれども、いろいろ助け合いながら、やはり離れていかないようにしていくということがいいことなのかなと思いますけれども、今のご説明でどうでしょうか。

○湯浅委員

大変よく分かりました。

○朝隈委員長

ありがとうございます。

何か校長先生のほうから。

○土屋委員

豊富小学校の土屋です。今お話があったとおり、「豊富わっしょい！！」という大きなイベントを控えていますし、それから、ここにも記載してありますけれども、豊富小学校のクラブ活動では、4年生から6年生までが年に8回だけ自分の好きなクラブを選んで行くものがあるのですが、実際にウクレレをここでやらせていただいたり、小学校の校庭でグラウンドゴルフをやっていたり、そういった形で本当に地域の方のお力を小学生にいただいているので、これからもこういうものをすごく大事にしていきたいと思います。今話が出ましたが、市内55校の小学校の中で最も児童数が少なく119名です。でも、その良さというのが豊富地区にはあるので、公民館事業もそうですけれども、地域と連携して地域の皆様に育てていただいている小学生なので、その辺りはこれからも大事にしていきたいと思っています。

○朝隈委員長

そうですね。豊富はいいところだから引っ越してこようという人が来てくれればいいかなと。

小室も子供の人数が一時は危機だったんですよね。なぜか最近すごい勢いで増えていますよね。

○土屋委員

分譲の住宅ができたことによって、今は2クラス、3クラスとかも当たり前になっているので、小室の小学校は大きくなっています。

○朝隈委員長

そうですね。1クラスがようやくだったのに、今は2クラス。

○土屋委員

そうですね。3クラスの学年もあると聞いています。

○朝隈委員長

やはり何かいい方法があるのかもしれませんが。豊富は楽しいところとか、いいところとか、住みやすいところとか、何かあれば引っ越ししてくる人もいるのかなと思います。皆さん待ちわびてやっていきたいなと思っておりますので、よろしくお願いします。

何かほかにご質問ございますか。

今後暑くなっていきますので、高齢者にはちょっときつい事業がいろいろあるのではないかと思います。寿大学もそうだし、卓球もそうだし、シニアの体操ですか、水の補給を十分気をつけてやっていただけるように、公民館のほうからも気をつけていただきたいと思っています。

それと、坪井さんがキャッシュレスをデジタルデバイドでやったのは本当にいいことだと思います。デジタルデバイドの初歩的なこともいいのですが、こういう年寄りがとっても苦

手な…私も苦手ですけども、こういうことをデジタルデバイドの中に入れていただけると非常にありがたいなと思う。何か不安ですよ、ああいうのを使うのが。私なんかは駄目です。そういうのを公民館が中心になってやってくださったということはすごくいいことだなと私も思いました。何とかちょっとでもいいからデジタルデバイドの中に入れてやっていただけたらうれしいなと思っております。

それから、寿大学でもシニア料理教室でも、体操もそうなのかな、人数が少しずつ減ってきているのは何なのかなと。やはりちょっと考えなければいけないかなと思っているところもありますので、そういうところをチェックしていただきながら、何が原因なのか考えてみていただければいいかなと思っております。

○荒井委員

シルバーリハビリ体操の件に関しては、体操を指導する人がやはりいないそうです。だから、開催されるところも縮小しなければならないとか、そういう事情もあると指導の人からちょっと聞きました。

○朝隈委員長

指導者も少ないですよ。

○荒井委員

はい。だから、指導者をもっと多くしたいので、どうぞやってくださいと指導の方が結構声をかけているみたいで。

○朝隈委員長

そうですか。指導者がいないとなかなか難しいですよ。

○荒井委員

やはり指導者もだんだん高齢化してきてというのはちょっと聞きました。

○内久根委員

私は三咲でシルバーリハビリ体操の指導士の仲間に入っていますが、地域ごとに人数が、大穴は少なかったり、三咲は多かったりします。

去年もそうですが、たしか今年も北部の地域でシルバーリハビリ体操の指導士の養成講座があります。なので、多分いろいろなところで、三咲なんかでもシルバーリハビリ体操の指導士の養成講座のチラシを参加者に向けてまいたりしているの、一生懸命頑張っている。

○荒井委員

やってはいますよね。そうですが、自分はもう年だから、逆に教わる側のほうに回ってと言う。

○内久根委員

三咲でも、もうじき 90 歳になろうというおばあちゃまも指導士で頑張ってくださっているの、若い指導士の方が入ってきてくださると、またちょっと活気が出るかもしれないです。

けれども、なかなか。

○荒井委員

なかなかというのは、ちょっと指導士の方たちが。

○内久根委員

現状はそんな感じです。

○朝隈委員長

運営審議会委員の皆さんと公民館でいろいろ頭を使って、少しでも。

○内久根委員

今年はもう終わったみたいですが、来年も北部地域で指導士の養成講座を開いていただくように健康づくり課のほうにも実情を話してとか。指導士の方は皆さんすごく頑張っていますが、どうやって裾野を広げるのかとか、三咲なんかでも人数が結構頭打ちになってきているので、どうやったら楽しく皆さんに集まっていいただけるかというのは、やはりこれから知恵を。

一つ皆さんにご報告したいのは、三咲公民館は7月からクローズになってしまいますけれども、三咲公民館で行っていたシルバーリハビリ体操に関しましては、北部保健センターのほうで会場を手当てします。毎月第2と第3金曜日の午後にやっていて、その部屋の手当てがつかなくて違う日になってしまいますけれども、月に2回、北部保健センターでやります。それに向けてのチラシを一生懸命まいていますので、皆様のお近くで「三咲でシルバーリハビリ体操がなくなっちゃったから行けないよ」という方がいらっしゃいましたら、北部保健センターで継続してやっていますということをお伝えいただくとありがたいです。

○朝隈委員長

ありがとうございます。実は私はそれを心配していました。それを言おうかと思ったのですが、例えば卓球もそうですけれども、三咲は結構多いですね。卓球とかシルバーとか。その人数の人がどこへ散らばっていくのだろうと、とても心配でした。行く先が遠くて行きたくないとか、いろいろありますよね。卓球も40何人とか結構大きな人数の人たちがいるので、その人数の人たちが来年の3月までだんだん離れていってしまったらどうしようかなと私は思っています。シルバー体操もそうですけれども、行く場所がどうなっているのかと。それをちょっと考えていただいたらいいかなと思いました。いろいろそんなことが心配でした。離れていかれては困る。人は一回離れるとなかなか戻ってこない。一回入ってくると長くいてくださるけれども、離れてしまうともう入ってこないというような感じになってしまう。再開まで長いなと思ったので、それがちょっと心配だなと思いました。でも、行き先をそういうふうに宣伝していただければありがたいですね。よろしく願いいたします。

○内久根委員

頑張って宣伝したいと思います。

○湯浅委員

北部公民館ブロックとしてはどんなふうに。

○北部公民館長

今のお話で委員長もおっしゃったように、休館期間が3月までと長いので、館長全員で共通認識しているのは、まずは、二和とか管区で既に利用がいっぱいのところもありますけれども、北部公民館はまだ利用率が30%台で低いので、そういうところ全体で三咲の利用団体を支えようということで、利用の相談が来たら真摯に受け入れるようにということを共有しているところです。実際、北部にも三咲の利用団体さんが3団体来て利用を開始しています。

あと、高根公民館も1か月早く6月から休館に入っていますけれども、あそこはちょっと特殊で、畑のど真ん中です。だから、太鼓とかあまり音量を気にしないで済む場所です。なので、高根の太鼓の団体とかが北部に来ています。私も気にしながら、近隣に住宅がないわけではないので、ご迷惑をかけないように配慮しながらやっています。

○朝隈委員長

三咲は徒歩圏内にあるけれども、そうではない公民館がいっぱいありますでしょう。車で行かなければいけない。

○北部公民館長

そうですね。車がある方は北部とかに来られますが、車がない方で先ほどおっしゃっていた卓球に来ていた人とかは、近い公民館に行っていたくしかなくなってしまう。交通手段といってもなかなか、三咲だとあれですから、近くの二和とか隣の八木が谷という形でご案内はもう2月からずっと貼り出してはいますけれども、今後また休館に入ると、ご利用者がどこへ行けばいいのかということが顕在化してくるでしょうから、そこは館長で共通認識を持って受入れを工夫してやっていきたいと思っています。

○朝隈委員長

二和公民館は駅が近いから大変ですね。場所取りの競争率が激しくなるのではないですか。だって、一番近いですものね。

○二和公民館長

そうですね。ほかの公民館の人も抽選で来ますが、そうするとうちの団体がはじかれてしまう。それでうちの団体がどこかへ行く。部屋の数には限界があるので、回っていますが。

あと、駅は近いですが、うちは駐車場が少なくていろいろ問題もあって、二和公民館は駅から近いけれども、私が住んでいるところは駅から離れているという方は結構いらっしゃいます。そうすると、自分は電車で行けないから車で行きたいというと、私たちの公民館は車の制限をかけているのでということで、そこは存在してしまいますね。

○朝隈委員長

なるほど。そういうこともありますね。

○二和公民館長

ありますね。結構窓口でも何回か。

○朝隈委員長

でも、北部館長が言うには、館長たちが全員力を合わせて何とかやるということなので、それを実行していただきたい。

○北部公民館長

手段的に、バスを設けマイクロバスで迎えに行けるかということそこは難しいですけども、できる範囲でいろいろなことは検討してまいりたいと考えています。

北部ブロックと言いますけれども、三咲公民館は南のほうですし、そうすると高根台公民館とかそういう電車の便がいいところに移行しているという話は聞いています。楽器とか大きな荷物がある、太鼓を持ってくるというのは北部へ。どっちにしても車が必要ですから。そういうご案内をしていくのかなと思っていますけれども、あまりここが太鼓だらけになってしまうとまずいのですが。

○朝隈委員長

これが少し減るのはしょうがないかなとも思っています。工事が長いですものね。

○北部公民館長

そうですね。今後もずっと計画的に各館改修に入っていきます。休館を伴う改修はもうやむなしで、躯体はもっていますが、やはり設備が先に老朽化してきますので、皆さんに継続して使っていただけるよう、かつ、市の財産ですから、これをなるべく長くもたせられるように計画的にやっていきますので、この辺はご理解いただきながら運用していくことになろうかと思えます。

○朝隈委員長

ということなので、よろしくお願いいたします。三咲公民館長、大変だと思いますけれども、よろしくお願いいたします。

○三咲公民館長

こちらこそよろしくお願いいたします。

○朝隈委員長

ほかに何かご意見、ご質問ありますでしょうか。

○金子副委員長

デジタルデバイドで詐欺の防止、あれは坪井でしたっけ。

○朝隈委員長

今回坪井さんがやってくれます。

○金子副委員長

具体的にはどのようなことを。内容をちょっと教えてもらえると。

○坪井公民館長

ごめんなさい、詳細までは把握していないのですけれども、恐らくアプリの説明ですとか、あと、こういうことを言われたら詐欺ですとか、そういったところの注意喚起だと思っています。

ます。

○金子副委員長

でも、一つ新しい試みかもしれないですね。

○朝隈委員長

例えばこういうのが来たら危ないよとか、そういう感じですよ、きっと。例を挙げて。よく来ますもんね。こういうのには出てはいけないよとか、そういう感じですかね。

○坪井公民館長

そうだと思います。

○朝隈委員長

引っかかっている人が結構いますからね。よろしくお願いいたします。

ほかにございませんか。

ないようであれば、議事（２）につきまして承認するものとしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○朝隈委員長

それでは、異議がないようですので、議事（２）「事業計画（６月２３日～９月１４日）」につきまして承認いたします。ありがとうございました。

議事（３）に入る前にちょっと休憩を取りたいと思いますけれども、３５分ぐらいからですか。

○事務局（北部公民館長補佐）

そうしましたら、１０分程度で３５分から再開させていただきます。よろしくお願いいたします。

○朝隈委員長

時間的にちょうどいいかも。スムーズに行っています。

では、３５分から始めますので、よろしくお願いいたします。

（休憩）

議事（３） 社会教育関係団体登録申請（新規）

議事（３） 社会教育団体登録申請（新規）

非公開の審議であるため、船橋市附属機関等の会議の公開実施要綱第８条第３項の規定に基づき、記載を省略します。

○朝隈委員長

異議がないようですので、議事（３）「社会教育関係団体登録申請（新規）」につきまして、承認することにいたします。ありがとうございました。

それでは、そのほか、何でもよろしいですから何かご質問等ございませんでしょうか。
ないようですので、これで終わらせてもらってよろしいですか。
以上をもちまして、令和8年度 第2回北部公民館運営審議会を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。
事務局から何かあればお願いします。

その他

○事務局（北部公民館長補佐）

皆様、長時間にわたるご審議お疲れさまでした。
本日、非公開とさせていただきました議事（3）の資料は回収させていただきます。そのまま机の上に置くようお願いいたします。
次の会議になりますが、9月15日（火曜日）、時間が変わりまして、13時半からの開催を予定しております。会場はこちらの北部公民館の第2集会室になりますので、併せてご予約のほうをよろしくお願いいたします。
また、今会議の議事録署名人につきまして、前回は金子副委員長にお願いしましたが、今年度の議事録署名人としましてご指定されております湯浅委員のほうでよろしくお願いいたします。
ここで事務局よりご連絡をさせていただきます。
以前報告させていただき、先ほどもありましたとおり三咲公民館がこの後大規模改修ということで、予定どおり7月から閉館となります。これに合わせまして三咲児童ホームも閉館となりますので、ご承知おきのほどよろしくお願いいたします。
それでは、以上となります。本日はありがとうございました。

午後4時55分 閉会